

【神戸支店】

支店長の



長江 敬氏



今年も残すところあとわずかとなりました。毎年、この時期になると、一年を振り返って「予想外の出来事が数多くあったな」と思ったりしますが、今年はそれをより強く感じます。感染症拡大による経済情勢の急速な悪化、緊急事態宣言の発出、東京五輪・パラリンピックの開催延期、各種イベントの中止など、昨年の今頃には想像もできなかったことばかりです。多くの方は、今年の国内経済は緩やかな拡大が続き、観光地は五輪効果から外国人観光客で溢れ返っている状況を想像されていたのではないのでしょうか。実際には、国内経済は、夏場以降、徐々に持ち直しに転じたものの、厳しい状態が

予想外となった一年

続く結果となりました。無論、予想外の出来事は悪いことばかりではありません。例えば、今回のコロナ禍では、デジタル化を推進する必要性が認識されたほか、従来の働き方を見直す契機にもなりました。私自身に関しては、神戸への赴任は思いもよらないことでしたが、地元の企業や金融機関の方々とさまざまな形で意見交換する貴重な機会が得られました。いずれにしても、今年を振り返って、予想外の事象に対して、しっかりと向き合い、対処していくことが極めて重要だと改めて感じました。予想通りにはならないとはいえ、来年がどんな年になるのか気になるところです。県内景気は持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、感染症への警戒感が続く中では、そのペースは緩やかなものになるとみられます。果たして、予想通りの状況となるのか、来年も県内の経済動向を注視していきます。